

秋季特別企画展

松阪商人のあそび

旧長谷川治郎兵衛家「長谷川家のわびさび」

令和2年9月30日(水)〜12月20日(日)

旧小津清左衛門家「商家のたのしみ」

令和2年10月14日(水)〜同3年1月11日(祝日)

●3館共通案内

| 入館料 (円) | 単館券 | | 3館共通券 | | 2館共通券 | |
|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 大人 | 小中高生 | 大人 | 小中高生 | 大人 | 小中高生 |
| 長谷川 | 320 (250) | 160 (120) | 500 (400) | 250 (200) | 420 (340) | 210 (170) |
| 小津 | 160 (120) | 80 (60) | | | | |
| 原田 | 無料 | | | | | |

※()内は20名以上の団体。3館共通券は旧長谷川家・旧小津家・歴史民俗資料館、2館共通券は旧長谷川家・旧小津家。

●開館時間／9時～17時(入館は16時30分まで)

●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)

お問い合わせ



NPO法人 松阪歴史文化舎

〒515-0082 三重県松阪市魚町1653番地(旧長谷川治郎兵衛家内)

TEL: 0598-21-8600 FAX: 0598-20-9111

HP / <http://matsusaka-rekibun.com/>



●アクセス

電車：近鉄・JR松阪駅から徒歩約10分、車：松阪ICから約10分
※バスは観光交流センター、普通車は市営駐車場をご利用ください

旧長谷川治郎兵衛家

●「長谷川家のわびさび」令和2年9月30日(水)～12月20日(日)

・「わびさび」は日本の美意識のひとつとして、茶の湯や俳諧で見受けられる言葉です。

文化活動の盛んな長谷川家にのこる品々を通じて「わびさび」の世界をご紹介します。

●「長谷川家の江戸店経営」令和2年12月23日(水)～
同3年3月14日(日)

・長谷川家の当主は松坂の本家に居住し、江戸店の経営一切は支配人に任せていました。長谷川家に残る本家と江戸店とのやり取りした記録を通して江戸店の経営や奉公人の生活をご紹介します。

○三重県松阪市魚町1653番地 / TEL 0598-21-8600



芭蕉翁像

旧小津清左衛門家

●「松阪商人の信仰」令和2年8月5日(水)～10月11日(日)

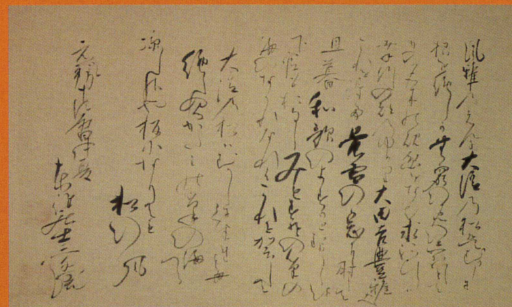
・松阪商人の当主は「家業の永続」のため、祖先や神仏を敬い、家内安全・商売繁盛を熱心に祈願しました。大般若祈祷会の道具類、お蔭参りの資料など松阪商人の信仰をご紹介します。

●「商家のたのしみ」令和2年10月14日(水)～
同3年1月11日(祝日)

・江戸時代の豪商たちは、余暇に趣味と教養を兼ねた文芸を極め、松阪特有の「商人文化」の担い手となりました。

資料を通じて、松阪商人の「たのしみ」をご紹介します。

○三重県松阪市本町2195番地 / TEL 0598-21-4331



大淀三千風筆「大淀の松讃歌」

原田二郎旧宅

●「原田二郎と土居光華」令和2年8月19日(水)～12月6日(日)

・同心町(現・殿町)は、江戸時代には同心クラスの武士の居住地でした。同心町に住み、近代の松阪を代表する経済人・原田二郎(1849-1930)と政治家・土居光華(1847-1918)をご紹介します。



御城番屋敷

●「御城番屋敷と苗秀社」令和2年12月9日(水)～
同3年4月18日(日)

・江戸末期に紀州藩士が松坂城警護のため移り住んだ「御城番屋敷」と明治維新後に御城番武士が設立した合資会社「苗秀社」をご紹介します。

○三重県松阪市殿町1290番地 / TEL 0598-23-1656